

「海外と日本の文化」

人生最後の修学旅行、そして初の海外で、私はドイツ・スイスに行きました。初めて体験することばかりで、不安はたくさんありましたが、充実した1週間を送ることができました。

まず、日本とヨーロッパとの文化の違いに驚くことがたくさんありました。例えば横断歩道では、信号がなくても歩行者が待っていれば、車の運転手さんは停まって、歩行者を優先してくれます。エレベーターでは、閉まるボタンがありません。トイレの多くは有料でした。そして一番日本との違いを感じたのは食文化でした。初めてみる料理も多く、普段日本で食べているような料理でも、初めて食べるような味ばかりでした。そのおかげで、普段食べている日本食の魅力を改めて感じるすることができました。



言語の違いに戸惑うこともたくさんありました。現地の人たちに話しかけられても、何の話をしているのかが理解できなかつたり、スーパーのセルフレジでは書いてある文が理解できず、お菓子を買うことでさえ苦戦したりしました。ですが、現地の人は優しく何回も教えてくださったり、笑顔でジョークを言ってくれたり、人々の温かさにも気づくことができました。こうして、海外の人たちとの交流を重ねていくうちに、自分自身のコミュニケーション力がついたと感じるようになりました。サンキューやハローが自然と出てくるのです。日本では、店に入っても「こんにちは」と言い合うことはあまりありません。しかし、ドイツ・スイスでは必ずと言っていいほど挨拶を交わします。当たり前なのかもしれないけれど、素晴らしいことだなと思いました。

今回の修学旅行でたくさんの事を学び、たくさんのいい思い出やいい経験ができました。こんな素晴らしい体験をさせてくださった先生方や両親に感謝しています。

今回の修学旅行でたくさんの事を学び、たくさんのいい思い出やいい経験ができました。こんな素晴らしい体験をさせてくださった先生方や両親に感謝しています。

